

令和7年度 第2回「みえ現場 de 県議会」 離島の振興 ～「観光」による課題解決を目指して～

事 項 書

日時:令和8年2月19日(木)14時～16時

場所:伊勢湾フェリー 鳥羽フェリーターミナル

2階 多目的ホール

(鳥羽市鳥羽三丁目 1484-111)

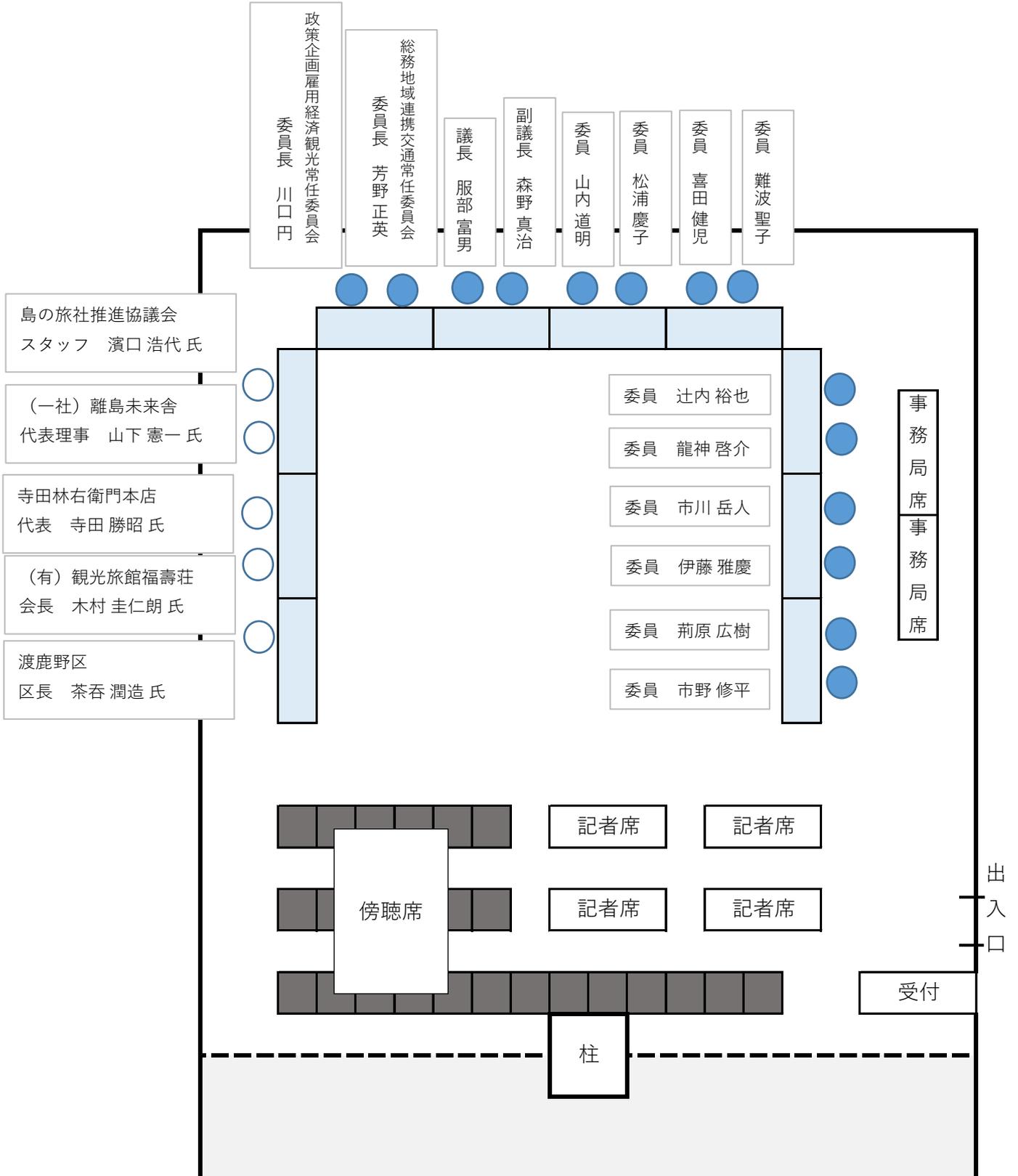
- 1 開会あいさつ
- 2 参加者の紹介
- 3 関係者による「プロフィール」・「状況シート」の説明(自己紹介)
- 4 意見交換
 - (1)事前質問に対する質疑応答
- 《休憩》
- (2)意見交換
- 5 閉会あいさつ

《配付物一覧》

- 事項書
- 会場レイアウト
- 資料1 参加者一覧
- 資料2 開催要領
- 資料3-1 参加者のプロフィール【3で使用】
- 資料3-2 参加者の状況シート【3で使用】
- 資料4 広聴広報会議委員からの事前質問【4(1)で使用】
- アンケート

令和7年度第2回「みえ現場de県議会」レイアウト

令和8年2月19日(木) 14時~16時 鳥羽フェリーターミナル 多目的ルーム



令和7年度第2回「みえ現場 de 県議会」参加者一覧

(令和8年2月19日)

●関係者

	事業所・役職 等	氏名
≪鳥羽市・答志島≫		
1	島の旅社推進協議会 スタッフ	はまぐち こうよ 濱口 浩代 氏
2	一般社団法人 離島未来舎 代表理事	やました けんいち 山下 憲一 氏
≪鳥羽市・神島≫		
3	寺田林右衛門本店	てらだ かつあき 寺田 勝昭 氏
≪志摩市・渡鹿野島≫		
4	有限会社 観光旅館福壽荘 会長	きむら けいじろう 木村 圭仁朗 氏
5	渡鹿野区 区長	ちやのみ じゅんぞう 茶吞 潤造 氏

● 県議会議員

	役職等	氏名
1	議長	はっとり とみお 服部 富男
2	副議長、広聴広報会議座長	もりの しんじ 森野 真治
3	広聴広報会議委員	いちの しゅうへい 市野 修平
4	広聴広報会議委員	いげはら ひろき 荊原 広樹
5	広聴広報会議委員	いとう まさよし 伊藤 雅慶
6	広聴広報会議委員	きた けんじ 喜田 健児
7	広聴広報会議委員	いちかわ がくと 市川 岳人
8	広聴広報会議委員	りゅうじん けいすけ 龍神 啓介
9	広聴広報会議委員	まつうら けいこ 松浦 慶子
10	広聴広報会議委員	つじうち ゆうや 辻内 裕也
11	広聴広報会議委員	やまうち みちあき 山内 道明
12	広聴広報会議委員	なんば せいこ 難波 聖子
13	総務地域連携交通常任委員長	よしの まさひで 芳野 正英
14	政策企画雇用経済観光常任委員長	かわぐち まどか 川口 円

令和7年度第2回「みえ現場 de 県議会」開催要領

テーマ 離島の振興 ～「観光」による課題解決を目指して～

1 開催趣旨

我が国全体で人口減少社会を迎える中、離島での人口減少と高齢化の進行は著しく、地域の活力の低下が懸念されています。

離島は、独自の伝統文化や豊かな水産資源など、多様性の源泉となっており、独自の魅力を生かして人を呼び込む可能性を秘めています。

今回は、島を支える産業の一つである「観光」に着目し、関係人口の創出など新たな視点で地域の魅力を高め、賑わいを取り戻す方策について、離島の住民や関係者の皆さんと意見交換を行い、県議会での議論に反映させていきます。

2 開催日時 令和8年2月19日（木）14:00～16:00

3 開催場所 伊勢湾フェリー 鳥羽フェリーターミナル 2階 多目的ホール
(鳥羽市鳥羽三丁目1484-111)

4 参加者

(1) 離島振興法に規定の離島振興対策実施地域に指定されている6島の住民・関係者 [5名]

《鳥羽市・答志島》 島の旅社推進協議会 スタッフ ^{はまぐち}濱口 ^{こうよ}浩代 氏一般社団法人 離島未来舎 代表理事 ^{やました}山下 ^{けんいち}憲一 氏《鳥羽市・神島》 寺田林右衛門本店 代表 ^{てらだ}寺田 ^{かつあき}勝昭 氏《志摩市・^{わたかの}渡鹿野島》 有限会社 観光旅館福寿荘 ^{ふくじゅそう} 会長 ^{きむら}木村 ^{けいじろう}圭仁朗 氏渡鹿野区 区長 ^{ちやのみ}茶吞 ^{じゅんぞう}潤造 氏

(2) 県議会議員 [14名]

(正副議長、広聴広報会議委員、総務地域連携交通常任委員長、政策企画雇用経済観光常任委員長)

5 内容

- (1) 開会
- (2) 自己紹介
- (3) 意見交換

6 主催 三重県議会広聴広報会議

プロフィール

事業所・団体名	島の旅社推進協議会
役職・氏名	スタッフ <small>はまぐち</small> 濱口 <small>こうよ</small> 浩代 氏
創業年月	平成16年6月
従業員・会員数	8人
業務・活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥羽市役所を退職後、島の旅社推進協議会のスタッフとして主にイベントやツアーの企画を担当している。 (島の旅社推進協議会について) ・スタッフは全員答志島の島民。漁業等の家業を行いながら、できる時間で島の旅社推進協議会の仕事をしている。 ・訪れた人々に島の生活や文化を体験してもらうことを目的としている（島の母ちゃんたちが案内する）。 臨海学習や修学旅行での体験利用が多い。 ・今年1月からインバウンドの受け入れも始めた。 これまで県内大学、関東方面からの利用申込がある。 ・島の旅社推進協議会で提供している体験メニュー（例） <ul style="list-style-type: none"> ・釣り ・干物 ・答志ビンゴゲーム ・海女の話 ・シーグラスアクセサリー作り ・浮島自然博物館（無人島）など

プロフィール

事業所・団体名	一般社団法人 離島未来舎
役職・氏名	代表理事 <small>やました</small> 山下 <small>けんいち</small> 憲一 氏
創業年月	令和7年8月
従業員・会員数	3人
業務・活動内容	<ul style="list-style-type: none">・令和7年3月まで、鳥羽市役所職員として勤務。 職員時代、公益財団法人日本離島センターへの出向等を経験し、離島振興へ興味を深める。・現在は、行政書士をしながら、離島未来舎の代表理事を務める。 <p>(離島未来舎について)</p> <ul style="list-style-type: none">・国の補助金等を受けるのに、法人格のある団体のほうがスムーズなこともあるため、一般社団法人を立ち上げた。・スタッフは全員兼業で務めている。・現在受けている二地域居住の補助金は市からのオファーもあって手を挙げた。 内容としては、空き家の調査や、二地域居住の体験ツアー等を実施。・現在、国土交通省事業の「二地域居住先導的プロジェクト実装事業3次公募（令和6年補正及び令和7年当初予算）」に、鳥羽市・全国離島振興鳥羽協議会とのコンソーシアムとして採択を受け、空き家の調査や二地域居住の体験ツアー等を実施している。

プロフィール

事業所・団体名	寺田林右衛門本店
役職・氏名	代表 寺田 勝昭 氏
創業年月	平成29年
従業員・会員数	1人
業務・活動内容	<p>・神島出身。20数年間、島外で勤めていた。たまに帰る島が年々寂れていくのを見て何とかしたいと思い、できれば島に住んで何かをしたいと考えていた頃に、お世話になっている人から「神島で塩を作ってみないか」という誘いをもらい、島での製塩を始めた。</p> <p>(製塩について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・塩は、漁協のポンプを借りて、海底深くの湧き水を汲み上げて作っている。神島は獣が生息していない上に、伊勢湾と外海の海水が入り混じり、激しい潮流や沖波の影響を受ける立地であるため、汲み上げる水はきれいで、ゴミがほぼ混じっていない。 ・塩は、薪ではなく灯油を使って均一に熱して作る。汲み上げた水は、塩になるまで約10時間かき混ぜながら弱火で熱する。 ・完成品「神島の塩」は、島のお姉方に協力してもらい袋詰めする。 ・塩の生産量に限りがあるので、島内での販売と島外では鳥羽マルシェ等限られた相手先での取扱いで精一杯。 <p>(島の案内について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製塩と塩の販売を行いながら、観光客等へ島の案内を行っている。 ・2025年の秋～2026年2月頃までは、ほぼ毎日島の案内の予定が入っている。多いときは月に100人程度。少人数のグループもある。 ・観光客が島を訪れる理由は様々。昔から多い来島理由は、釣り、渡り鳥の観察、三島由紀夫の小説「潮騒」の舞台の見学。ここ数カ月は、一部の界限でパワースポットとして急激に神島の知名度・人気が上がっており、来島者が増えている。また、「子どもを抱えるマリア像に見える岩」を見るために、キリスト教徒の方も来島する。 ・島案内の依頼が増えてきて、日程の調整が大変になってきた。島の案内はInstagramのダイレクトメール(DM)で来島者と直接連絡をとっている。

プロフィール

事業所・団体名	有限会社 観光旅館 <small>ふくじゅそう</small> 福寿荘
役職・氏名	会長 <small>きむら けいじろう</small> 木村 圭仁朗 氏
創業年月	昭和7年（1932年）
従業員・会員数	約70人（令和8年1月現在）
業務・活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・2020年春の叙勲 旭日双光章（観光事業振興功労者）受章 ・第60回県民功労者表彰（商工業功労および観光産業功労）受章 ・全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会 理事 ・三重県生活衛生同業組合連合会 会長 <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <ul style="list-style-type: none"> ・画家であった木村英一氏（木村圭仁朗氏の父）が渡鹿野島を訪れる機会があり、島を気に入って移住し、釣り客相手の宿「福寿荘」（7室）を始めた。 ・伊勢湾台風の際に、「福寿荘」は甚大な被害を受け、全壊に近い状態になった。約半年間の休館を経て復旧後、増改築を行い、現在は約60室の宿になっている。 ・隣接する旅館を買い取って改装し、平成16年に「はいふう」を開業。海に面したホテルを買い取り、東日本大震災の被災者宿泊支援施設としても活用とするため「海辺のホテルはな」を平成24年に開業。 ・三重サンベルトゾーン構想（※）では、渡鹿野島は離島の特性を生かした長期滞在型保養地として位置付けがされ、「アイランドテラピー構想」が練られた。この際、独自に温泉を掘削し、平成9年に塩化物泉を開湯した。 ・客層は、カップルまたは1人旅が多い。基本は2名1室。1人旅には、中高年の手前の年代の男性もいる。 ・インバウンドも受け入れており、台湾からのツアーは月に2～3回の利用がある。 ・小型の中古船を購入し、本土と島の間物流に活用している。 <p>※三重サンベルトゾーン構想 昭和62年（1987年）に制定された総合保養地域整備法（通称：リゾート法）に基づいた三重県の開発計画。</p>

プロフィール

事業所・団体名	渡鹿野区
役職・氏名	区長 <small>ちやのみ</small> 茶呑 <small>じゅんぞう</small> 潤造 氏
創業年月	—
従業員・会員数	役員 8人
業務・活動内容	<ul style="list-style-type: none">・食品・酒類・雑貨の販売店「リカーちやのみ」を運営しながら、平成18年から現在まで渡鹿野区長を務める(途中2年間別の方が区長を務めた時期がある)。・渡鹿野区の役員は、兼業で務めている。全員60代以上。 <p>(渡鹿野島について)</p> <ul style="list-style-type: none">・渡鹿野島は風待ち港であり、船乗りを相手にしている島だった。・賑やかな頃は民宿が5軒あったが、近年2軒が辞めてしまい、3軒になった。・島には漁師等の1次産業者が少ない。

令和7年度 第2回「みえ現場 de 県議会」
離島の振興～「観光」による課題解決を目指して～

日時：令和8年2月19日（木）14:00～16:00
場所：伊勢湾フェリー 鳥羽フェリーターミナル

【状況シート】

氏名	濱口 浩代 氏
<p>《島を盛り上げるために行っている取組》</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・島での、生活に根差した魅力や楽しさ・歴史の深さを見直し、日常の海辺の暮らしを体験してもらい「島の旅」をプロデュースし、提供している。 ・島での体験メニューは、雨天でも体験できるよう工夫している。 	
<p>《今後の課題、展望など》</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・35年前頃はよく臨海学習で学生が答志島に大勢訪れ分宿していたが、徐々に減少して当時45軒あった民宿等は7軒まで減ってしまった。大きな要因の一つは医師が常駐していないことが不安視され小中学生の宿泊が随分減った。 島として、離島ならではの食事や体験等は準備できるのに、いざというときに医者がいないということが原因で、特に小中学校の行事では来島につながらない要因になっている。 ・鳥羽市4離島は人口減少に伴い、生活に必要な商店等もない島もあり、生活インフラの低下が著しく、観光に来てもらってもお金をおとしてもらう場所がない島もある。 ・「トロさわら」やわかめのブランディングはうまくいき、都市部では高値で売れて水産業においては成功していると思うが、時期的な事もあるが「トロさわら」の高値により島の観光業者の購入が困難になっている（ブランド魚を使った料理での誘客等）。 ・市営定期船が4月から減便になる予定。定期船職員の人員不足で時間外が増えていると聞く。定期船は島民の生活に欠かせないものであると同時に、島を往来する手段である定期船が減れば益々利便性が低下し島民の島離れが急速に進むのではないかと、また観光客もこれまで以上に減ってしまうことが想定されるので喫緊の課題である。 	

令和7年度 第2回「みえ現場 de 県議会」
離島の振興～「観光」による課題解決を目指して～

日時：令和8年2月 19日（木）14:00～16:00
場所：伊勢湾フェリー 鳥羽フェリーターミナル

【状況シート】

氏名	山下 憲一 氏
<p>《島を盛り上げるために行っている取組》</p> <ul style="list-style-type: none">・答志島和具地区内の交流拠点「ねやこや」を拠点に活動している。・「寝屋子」制度（※1）などに興味をもって島にやってくる、学生インターン生等が多い。そういった学生の活動をサポートしていきたい。・「寝屋子」は現在も行われているが、10軒程度になっている。・移住先となる住居の確保のために、島の空き家調査を行っている。現在、島の約3割が空き家になっている。普段は住んでいないが家はそのまま所有しておきたいという人や、盆と正月だけ島に戻ってきている人もある。・二地域居住の体験ツアーを4件実施。	
<p>《国や県の対応、支援策などについて》</p> <ul style="list-style-type: none">・国土交通省事業の「二地域居住先導的プロジェクト」では、単年度で約400万円の補助を受けている。・国からは3年スパンで離島活性化交付金も得ている。	
<p>《今後の課題、展望など》</p> <ul style="list-style-type: none">・島内には、手軽に食べたり、飲んだり、お土産を買えたりする施設がなく、観光客が来ても船代しかお金を落とさずに帰ってしまうということがある、非常にもったいなく感じる。そこで、「観光情報を調べられ、かつ島の人と交流できるような喫茶店」等、島民と島外の観光客が交流でき、かつ観光客にお金を落としてもらえるようなスポットを作れないかと考えている。・島内の事業者がそれぞれで行っている人材募集の情報を集約して発信すれば、マッチングしやすくなるのではないかと考えている。例えば、漁業者が島外から乗組員を集めたり、人手不足の事業者が「おてつたび（※2）」を募集していたりする。・島内の空き家をワークショップで改修して、二地域居住の拠点にしたい。・関係人口を増やしつつ定住者増を目指し、地域課題解決の手伝いをしていきたい。	

※1「寝屋子」制度

…戸籍上の兄弟ではない者同士が、生涯兄弟以上の付き合いをする制度。中学を卒業した男子数名を、「寝屋親」と呼ばれる人望の厚い地域の世話役が預かり、寝屋親の家の一室を借りて寝泊りさせ、寝屋親と寝屋子、寝屋子同士の絆を深める。寝屋子は自宅で夕食を済ませたあと、寝屋親の家に集まり、朝になれば自宅に帰る。

※2「おてつたび」

…働きながら旅をしたい人と人手不足に悩む地域をつなぐ、株式会社おてつたびによる人材マッチングサービスのこと。「お手伝い」と「旅」をかけた造語。

令和7年度 第2回「みえ現場 de 県議会」
離島の振興～「観光」による課題解決を目指して～

日時：令和8年2月 19日（木）14:00～16:00
場所：伊勢湾フェリー 鳥羽フェリーターミナル

【状況シート】

氏名	寺田 勝昭 氏
《島を盛り上げるために行っている取組》	
(製塩)	
<ul style="list-style-type: none">・「神島の塩」は、島内では300円、島外では500円で販売している。これは、塩を買うことが島に来る理由の1つになってほしいという思いと、島民にとってもメリットがなければいけないと思っているから。	
(島の案内)	
<ul style="list-style-type: none">・島の案内は、現在は無料で行っている。移住を増やすより、関係人口を増やすことが重要だと考えており、来島者に神島の魅力を知ってもらえるように、また、神島に来た人が知り合いを連れてきてくれるように活動している。・伊良湖ルートでの愛知県や静岡県からの来島のほか、北海道等、全国各地から来島者が増えている。	
《国や県の対応、支援策などについて》	
<ul style="list-style-type: none">・神島に人がたくさん来ている実績を基に、必要な支援について行政に相談しないと実現は難しいと考える。そのためにも、神島を訪れる人を増やしたい。	
《今後の課題、展望など》	
<ul style="list-style-type: none">・地元出身のUターンの者でないとできないこともある。島でうまくやっていくには、地元住民（特にまとめ役となる人）へ、日常から相談や報告をして、トラブルを未然に防ぐことが重要。「外から来た人」にはそういったことが難しい部分もある。・極端な田舎の方が、人が来やすい。不便さは魅力にもなるので、神島はポテンシャルがあると考えている。島案内をする来島者には「神島には飲食ができる常設の店はない」と事前に伝えて、在りのままの島の暮らしを感じてもらっている。・地域おこし協力隊は、費用対効果が薄いと考える。隊員の世話役となる地元住民と、世話	

役以外の地元住民の人間関係が、そのまま隊員の人間関係にも影響を与えてしまうことがある。人間関係に縛られて自分がやりたいことを実現できなくなってしまい、協力隊として続けられなかったという事例を聞いたことがある。

- ・ 定期船の便数と船賃の維持が重要。島を出ていった人たちが、気軽に帰ってこられるような環境を作っておくことが大事。また、鳥羽の離島の端に位置する神島に人が来れば、鳥羽駅や他の島にも立ち寄る人が増えると考ええる。

令和7年度 第2回「みえ現場 de 県議会」 離島の振興～「観光」による課題解決を目指して～

日時：令和8年2月 19日（木）14:00～16:00
場所：伊勢湾フェリー 鳥羽フェリーターミナル

【状況シート】

氏名	木村 圭仁朗 氏
《島を盛り上げるために行っている取組》	
<ul style="list-style-type: none">・空から見ると島の形がハート型に見えることから、「ハートアイランド」というキャッチコピーをつけ、PR。「オノコロハートアイランド～日本最古の恋人島・わたかのじま～」として「恋人の聖地」に選定される。渡鹿野島旅館組合として、県の「魅力的な観光地づくり補助金」を受けて、パールビーチにハートのモニュメントを設置した（木村氏は渡鹿野島旅館組合長としても関わる）。・対岸に約1,000坪の客用駐車場を整備し、宿泊客の交通利便性を向上。・令和3年以降、修学旅行生を受入れ（関西方面等）。・ユニバーサルルームやバリアフリールームを整備。	
《国や県の対応、支援策などについて》	
<ul style="list-style-type: none">・県でも色々と観光の施策をしているが、なかなかインバウンド誘客に結び付いていない。・中部国際空港（セントレア）からではなく、関西国際空港からの客を引っ張るべき。日本に来るインバウンドで、中部国際空港を利用する人は全体の3パーセントともいわれている。	
《今後の課題、展望など》	
<ul style="list-style-type: none">・本土からは近いが、住んでみないと分からない不便さはある（例：夜間に警察を呼ぶような事案が起きても、船が終わっている時間だと到着までに時間がかかる、等）。宿泊業という特性上、地域に密着して生活していないといけませんが、若い人は本土に出てしまう。・島内の飲食店が0軒になってしまった。現在は従業員の食事も、鶴方からフードサービスをとっている。繁盛している他地域（下呂、城崎等）は、街ぐるみで盛り上がり、飲食店が多くあり、旅館は素泊まりで利用されている。旅館としては、素泊まりのほうが利益率が良い。・インフラを島内で完結できないかと考えている。月に2回事業者ゴミを出しているが、チャーター船をだすのに30万円/回かかる。他にも、リネン類は1人分の1泊で7点であるため、かなりの量となるが、これも本土に運んで処理している。	

令和7年度 第2回「みえ現場 de 県議会」
離島の振興～「観光」による課題解決を目指して～

日時：令和8年2月19日（木）14:00～16:00
場所：伊勢湾フェリー 鳥羽フェリーターミナル

【状況シート】

氏名	茶呑 潤造 氏
<p>《島を盛り上げるために行っている取組》</p> <ul style="list-style-type: none">・観光の目玉を明るいものに変えていくための手段の一つとして、空から見ると島の形がハート型に見えることから、「ハートアイランド」というキャッチコピーをつけ、恋人の聖地の資格をとってモニュメントを作り、PRを行っている。・渡鹿野島のイメージを変えるため、平成24年に県の支援事業に手を挙げたことで、四日市大学の学生約20人が島を訪問し、島を盛り上げるためのフィールドワークが行われた。学生からの「島の良い所を発信しよう」という提案を受け、島のホームページやFacebookを作成し、情報発信を始めた。また、島内を回る謎解きウォークラリーのイベントを実施（平成27年～平成31年）し、県内を中心に集客できた。「ハートアイランド」も学生の発案から始まっている。	
<p>《国や県の対応、支援策などについて》</p> <ul style="list-style-type: none">・国庫補助による県の高潮対策海浜工事の一環で、白浜の海水浴場（パールビーチ）が平成15年に整備された。整備費は、港湾施設と合わせて10億円。7月中旬～8月中旬に営業しており、近隣地域からも人を借りて監視員を配置し、安全第一で運営している。・地域おこし協力隊はこれまでに2人来てもらったが、2人とも任期の途中で辞めてしまった。協力隊には、新たな事業を起こしてもらうことを期待したが、なかなか難しい。	
<p>《今後の課題、展望など》</p> <ul style="list-style-type: none">・離島は、非日常のゆったりとした時間やきれいな空気が魅力。一方、渡鹿野島には目玉となる商品や産物がない。本土に近いだけに、本土に依存する部分も多い。それは、裏を返せば島に来やすいということで、ファンを作りやすいということでもある。	

- ・何をやるにしても人手がいるが、人口が減って働き手がない。

(事務局補足：島民数は160人〔令和2年国勢調査による〕)

- ・島の祭りである天王祭は、ちょうちん祭ともいわれる派手なお祭りで、御神輿を担いだり花火を上げたりしていた。準備と片付けにそれぞれ30人ずつ人手がいるが、島の手は35人しかいない。7年に1回の舟祭りも平成26年を最後にやらなくなってしまった。観光の呼び込みのためには祭りを実施したいが、人手が足りない上に、子どももいないので、気持ち的にも繋げていくことができない。
- ・本土対岸との渡船が消えそうになっている。航路管理者の制限で、その航路の経験がないと管理者になれない縛りになっているため、新規参入ができなくなっている。役場でも管理者になることができないので、困っている。
- ・離島振興法では、通常、島の対岸のことは適用外になる。今回、渡鹿野島対岸での整備について、市長がかなり要望を頑張ってくれて、対岸の整備が離島振興法の対象となった。
- ・渡鹿野島は磯部町で、対岸は阿児町。合併して志摩市になったものの、エリアごとの町民の意識が強く、調整が困難になることもある。渡鹿野島と対岸では所属する漁協も異なる。

令和7年度 第2回 みえ現場 de 県議会

テーマ:離島の振興～観光による課題解決を目指して～

事前質問一覧

質問先	質問内容
島の旅社推進協議会 スタッフ はまぐち こうよ 濱口 浩代 氏	① インバウンドの受け入れ態勢について現状と課題を教えてください。 ② 離島未来舎さんとの連携体制について教えてください。
(一社)離島未来舎 代表理事 やました けんいち 山下 憲一 氏	③ 島外住民(県内・県外等)への離島の魅力発信や集客の取組状況を教えてください。 ④ 答志島等を活性化するにあたって、テーマやコンセプトがあれば教えてください。 ⑤ おてつたびの現状を教えてください。 ⑥ 二地域居住の進捗状況について教えてください。
寺田林右衛門本店 代表 てらだ かつあき 寺田 勝昭 氏	⑦ 島案内は、寺田さん以外にもみえるのか、複数人みえるとすれば連携体制はどうなっているのか教えてください。 ⑧ 案内時は「在りのまま」の暮らしを感じてもらうとありますが、あえて言うなら神島に必要と感じるものはありますか教えてください。 ⑨ 地域おこし協力隊は費用対効果が低いことや移住を増やすことより、関係人口を増やすことが重要と思われる理由を教えてください。
(有)観光旅館福壽荘 会長 きむら けいじろう 木村 圭仁朗 氏	⑩ 宿泊された外国人旅行者のリピート率を教えてください。 ⑪ 外国人旅行者や貴旅館の外国籍スタッフが思う渡鹿野島や地域の魅力、要望等が分かれば教えてください。
渡鹿野区 区長 ちやのみ じゅんぞう 茶吞 潤造 氏	⑫ 恋人の聖地や恋愛成就是強いコンテンツだと思います。あとは島全体のコーディネートや島民の皆さんの意識が重要と考えますが現状の取組を教えてください。 ⑬ 島文化や伝統を守るうえで天王祭は重要と考えますが、担い手確保として島外者のボランティア募集等はされているのか教えてください。 ⑭ 地域おこし協力隊の難しさについて教えてください。

令和7年度第2回「みえ現場 de 県議会」
離島の振興 ～「観光」による課題解決を目指して～
アンケート

本日は、「みえ現場 de 県議会」にお越しいただき、ありがとうございました。
よろしければ、皆さまのご意見、ご感想をお聞かせください。

Q1 右のいずれかに○を付けてください。 **参加者** **傍聴者**

Q2 本日の会議の感想について、当てはまるもの一つに○をつけてください。
また、お気づきの点がございましたら、下記自由記入欄にご記入ください。

1 良かった	2 少し良かった	3 どちらとも言えない
4 あまり良くなかった	5 良くなかった	

自由記入欄（良かった点、改善点など）

Q3 会議の時間の長さについて、当てはまるもの一つに○をつけてください。

1 長かった	2 少し長かった	3 ちょうどよかった
4 少し短かった	5 短かった	

Q4 「みえ現場 de 県議会」についてのご意見や、今後開催してほしいテーマ・開催場所のご提案などございましたら、ご記入ください。

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。
受付に提出していただくか、後日、メール又はFAXでお送りいただきますようお願いいたします。

メール：gikaik@pref.mie.lg.jp FAX：059-229-1931
〔2月24日（火）までに送付ください〕